

児童に学校生活を向上させようとする主体的な態度を育てる指導法の工夫

—児童会活動の活性化を通して—

I 設定の理由

学習指導要領解説特別活動編には「目標に示した『自主的、実践的な態度を育てる』の部分は、特別活動が目指す中心的な目標」「『心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り』や『集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする』ことについて、児童自身が意識して努力したり、自ら高めたり、伸ばしたりすることができるようにするなど、自主的、実践的な態度を育てること」とある。児童がよりよい生活や人間関係を築くためには、自主的、実践的な態度を育成する必要があると考えた。

「今まで活動を続けてきてよかった」「行事が成功してうれしい」「人前で話す自信がついた」など、学校行事や児童会活動の発表を終えた後、笑顔で話す児童の姿が見られる。しかし、学校行事や児童会活動の中で「面倒くさい」「去年と同じ活動でいい」「やりたい仕事じゃなかった」などの声を聞くこともあり、やらされている感が強く受動的な姿勢もみられる。この二極化が生まれる要因として、学校生活を充実したものにしていくとき、教師が児童にとって主体的な活動にできるような手立てを十分に打っていないことが挙げられる。児童が主体的に活動できる場や時間を設け、その活動の中で児童に成功体験をさせることが必要不可欠であると考えた。

本研究を通して、児童が主体的に活動できる手立てを講じ、成功体験を得るような活動を積み重ねることで、学校生活の中での問題点に気づき、児童自身で学校生活をより向上させようとする主体的な態度を育成できると考え、本主題を設定した。

II 仮説

以下のような手立てをとることで、学校生活を向上させようとする主体的な態度が育つであろう。

- ・児童会・生徒会の交流を通して、児童会活動を活性化させる。
- ・児童が成功体験を得るような自治活動を促す。

III 研究内容

- ・成功体験によって主体的な態度を育むプロセスの実践
- ・学校生活を向上させようとする主体的な態度を育む指導法

IV 結論

- ・児童会・生徒会の交流を通して、児童会活動が活性化し、児童が成功体験を得ることができた。
- ・児童が学校生活を向上させようとする主体的な態度の向上が見られた。

I 研究主題

児童に学校生活を向上させようとする主体的な態度を育てる指導法の工夫
～児童会活動の活性化を通して～

II 主題設定の理由

情報化、都市化、少子高齢化などの社会状況の変化を背景に、学習指導要領が改訂されるたびに人間関係の希薄化や自治的能力、自尊感情の低下が指摘されてきた。中央教育審議会答申（「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善について」2008）においては、「生活体験の不足や人間関係の希薄化、集団のために働く意欲や生活上の諸問題を話し合っ解決する力の不足、規範意識の低下などが顕著になっており、好ましい人間関係を築けないことや、望ましい集団活動を通じた社会性の育成が不十分な状況が見られる。」と述べられている。

小学校学習指導要領の目標の冒頭に、「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。」とある。また、学習指導要領解説特別活動編には「目標に示した『自主的、実践的な態度を育てる』の部分は、特別活動が目指す中心的な目標」「『心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り』や『集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする』ことについて、児童自身が意識して努力したり、自ら高めたり、伸ばしたりすることができるようにするなど、自主的、実践的な態度を育てること」とある。したがって、児童がよりよい生活や人間関係を築くためには、自主的、実践的な態度を育成する必要があると考えた。

「今まで活動を続けてきてよかった」「行事が成功してうれしい」「人前で話す自信がついた」など、学校行事や児童会活動の発表を終えた後、笑顔で話す児童の姿が見られる。学年、学級の枠を超えて、全校的視野に立って活動するからこそ責任や活動の大変さはあるが、その分、活動を成功させたときの達成感や自分への自信は大きなものになる。しかし、学校行事や児童会活動の中で「面倒くさい」「去年と同じ活動でいい」「やりたい仕事じゃなかった」などの声を聞くこともあり、やらされている感が強く受動的な姿勢もみられる。この二極化が生まれる要因として、学校生活を充実したものにしていくとき、教師が児童にとって主体的な活動にできるような手立てを十分に打てていないことが挙げられる。児童が主体的に活動できる場や時間を設け、その活動の中で児童に成功体験をさせることが必要不可欠であると考え。その成功体験につながった意識が、身に付けた見方や考え方が学級にも反映され、ひいては、次期児童会活動を担う学年の児童の意識を高め、伝統になっていく。

本研究を通して、児童が主体的に活動できる手立てを講じ、成功体験を得るような活動を積み重ねることで、学校生活の中での問題点に気づき、児童自身で学校生活をより向上させようとする主体的な態度を育成できると考え、本主題を設定した。

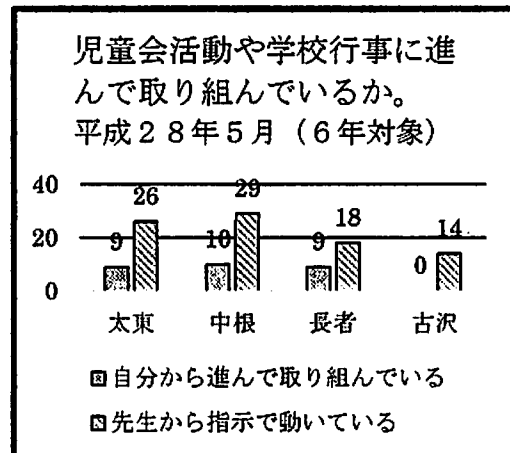


図1 岬地区小学校の児童会活動・学校行事に関する意識調査

Ⅲ 研究のねらい

成功体験によって学校生活を向上させようとする主体的な態度育むプロセスを想定し、そのプロセスに従った指導法を明らかにする。

Ⅳ 研究仮説

以下のような手立てをとることで、学校生活を向上させようとする主体的な態度が育つであろう。

- 児童会・生徒会の交流を通して、児童会活動を活性化させる。
- 児童が成功体験を得るような自治活動を促す。

Ⅴ 研究の内容

1 研究の基本的な考え方

(1) 本研究における「主体的な態度」とは

① 主体的な態度のとらえ方

本研究では、「主体的な態度」とは、よりよい学校生活づくりに向けて、集団の一員としての自分の意志・判断に基づいて行動しようとする態度と考える。

② 主体的な態度を高める指導について

岬地区の小学校4校の児童の実態として、指示されたことや決められた事を人に言われる前に取り組む姿勢は見られる。しかし、自分で物事を考える習慣が付いていない。反射的に行動をしてしまいがちである。そこで、児童が主体的に活動できる場

や時間を設け、その中で、児童が成功体験を得ることが必要と考える。まず、自治的能力の高い岬中学校の生徒会と交流し、実践的な活動を学ぶ機会を設け、疑似的な成功体験を得る。それにより、自治的活動への視点や関心・意欲を持つことができる。そして、各小学校で、児童が主体的に活動できる場や時間を設け、その活動が児童にとっての成功体験となるようにする。本研究での成功体験とは、「みんなのために活動するっていいな」という「達成感」や、「自分たちの行動が学校を良くしている」「前よりもまとめられるようになった」という「成長の実感」、下学年から「6年生みたいになりたい」「あの委員会に入りたい」といった「憧れ・目標」と捉えこととする。上記のような成功体験を得ることで、学校や人のためにもっと何かしようという態度が育つと考える。

このように、成功体験を得ることで、児童の主体的な態度が育ち、これをスパイラルに繰り返し積み重ねることで、学校生活を向上させようとする主体的な態度が育つと考えた。

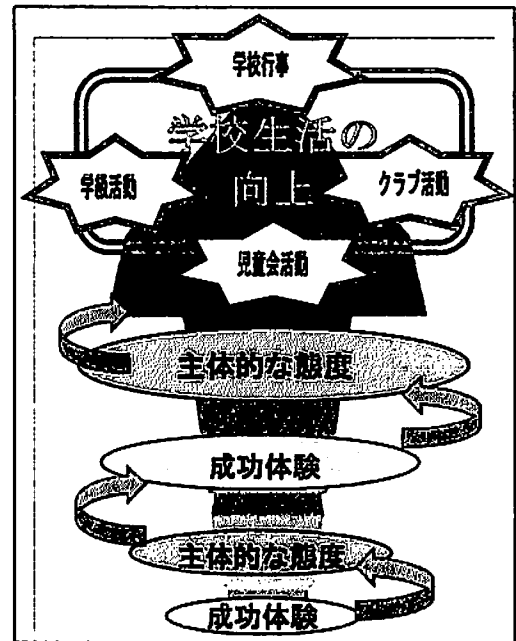


図2 主体的な態度の高まりを示すモデル

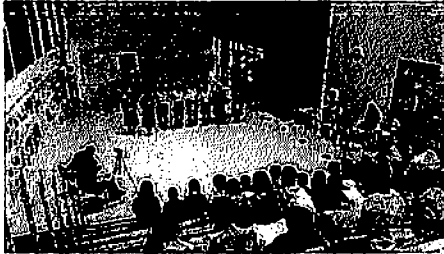
2 実践の内容

(1) 岬地区小学校4校と岬中学校 「児童会・生徒会の交流会」、各小学校で報告会

児童会・生徒会の交流【『大人の階段のぼろうプロジェクト』～未来は小・中^{ぼくら}の手の中!～】

昨年5月に岬地区小学校4校の児童会代表が岬中学校に集まり、岬地区の児童会と生徒会の交流会を行った。生徒会から、生徒自身で学校生活を向上させた実践報告を聞き、先輩方の学校や人のために行動している姿を知ることができた。交流会を通して、学校生活の問題点に気づく視野や、生活を向上・改善させるための行動力や取り組み方を知り、各小学校で、教師指導の受動的なものでなく、児童会を活性化させることを目的に開催された。

○各小学校の代表児童が岬中に集まり、生徒会の取り組みを聞く。



〈交流会の内容〉

(1) 熊本地震被災地支援プロジェクトについて

- ①プロジェクトの概要
- ②「緊急募集」新聞記事、写真などの募集広告
- ③全校集会のアンケート用紙
- ④アンケートの感想のまとめ

(2) 昨年度行った日常の生徒主体の活動例について

- ①給食早起り選手権
- ②学習マラソン
- ③便所法度
- ④ちょボラ、ボラ部
- ⑤地域清掃
- ⑥高齢者への絵手紙

(3) みさき笑顔プロジェクトについて

- ①パワーポイント資料
- ②3年生が笑顔プロジェクトを2年間続けての感想

(4) その他

- ①現1年生学年生徒会が評議会に参加しての感想

【交流会の感想】

○熊本支援プロジェクトについて

〈中根小学校〉

- ・新聞の切りぬきや募金などたくさんの人が協力していてすごかったです。
- ・みんながよく通る場所に新聞をはると、毎日意識できていいと思いました。

〈太東小学校〉

- ・全校ですぐに取りかかることがすごいいいと思いました。
- ・熊本の人たちのために募金したり、メッセージカードを作ったりして、とてもいいことをしているなと思いました。

〈古沢小学校〉

- ・地震がおきてすぐに全校集会を行った生徒会の人たちがすごいいいと思いました。古沢小でも募金活動ができればいいなと思います。

〈長者小学校〉

- ・熊本にメッセージカードを送っていて、伝えたいことを伝えられるからとてもいいと思います。

○生徒会の取り組みについて

〈中根小学校〉

- ・給食早起り選手権などの取り組みで、目的など立ててやっているの、すごいいいと思いました。

〈太東小学校〉

- ・自分たちで考えた活動をしていて、すごいいいと思いました。
- ・太東小でも取り組んでみたいことがたくさん思いつきました。

〈古沢小学校〉

- ・おもしろい活動が多いと思いました。みんなが楽しみながらできる活動や協力できる活動があっただけいいなと思いました。
- ・親しみやすいタイトルにしたり、活動を工夫したりしてすごいいいと思いました。

〈長者小学校〉

- ・岬町をみんな笑顔にする取り組みがとてもいいと思った。
- ・地域の人と一緒に活動したり、学んだりして勉強になると思うから、やったほうがいいと思います。

(2) 各小学校の実践

実践1 太東小学校 「ボランティア活動『YGS (よい学校にしよう)』」

本校では毎朝清掃活動を行っている。2年前に教師指導により、当時の6年生と朝清掃活動を始めた。その姿を見てきた5年生は新6年生となり、学校のために朝清掃に取り組んできた。朝清掃について児童とともに定期的に振り返りを行ってきた。また、中学校との交流会に参加した運営委員の児童より、中学生が行う自治活動を紹介した。児童から、「これからも毎朝清掃活動続けたい」「雨の日も学校の中を掃除する」と言った声がり、また、中学生の自治活動の刺激もあり、学年全員が毎朝の清掃活動へのやりがいを感じていた。この活動を児童は『YGS』と名付け、学校や人のためになることを進んで行おうということになった。この活動については、5年生も参加し、児童自身で実行委員を決め、計画的に行ってきた。

活動① 朝清掃活動

(具体的な内容)

- 2年前に教師指導により、6年生と朝清掃活動を始めた。その姿を見てきた5年生は新6年生となり、学校のために朝清掃に取り組んできた。
 - 1か月間活動後、この活動について児童とともに振り返り、児童から活動の感想を求めると、「達成感」を感じた感想が多く見られた。また、生徒会との交流会の報告を聞いて、児童の活動への意欲の高まりが見られた。
 - 今後この活動を継続するか確認すると、学年全員が毎朝の清掃活動継続を望んだ。この活動を『YGS (よい学校にしよう)』とし、学校や人のためになることを行っていくということになった。
 - ・『YGS』の実行委員を自分たちで決めた。
 - 雨の日は校舎内の掃除を行うこととした。
 - 清掃場所は各自が考えて行った。
- (活動後の6年生の感想)
- ・学校がきれいになると気持ちいい。
 - ・卒業した6年生のように掃除したい。
 - ・これからも毎朝清掃活動続けたい。



清掃活動の様子



YGSの活動についての話し合いの様子

活動② 活動への振り返り (5年生の想いを6年生に伝える)

(具体的な内容)

- 活動の振り返りの中で、5年生の想いを6年生に伝えた。
 - 5年生にとって6年生は、「憧れ・目標」の存在になっていることを知った。
 - 5年生の想いを知った後、6年生から感想を求めると、「憧れ・目標」への喜びと学校生活を今以上に向上させたい記述が全員から見られた。
- (5年生から6年生へのメッセージ)
- ・責任感があって心強い。6年生がいなかったら学校全体がくずれてしまう。
 - ・先生からの考えでなく6年生が自身で考えてそれだけでなく行動していてとても頼もしいです。わたしはそんな6年生になりたいです。
 - ・先生方や校長先生と同じで「芯」から支えてくれる学校の「顔」だと思った。
- (5年生からのメッセージを読んだ感想)
- ・今の自分たちがみんなの役に立っていることが嬉しい。みんなのためにも自分のためにも、ずっと清掃を続けていきたい。
 - ・やりがいを感じた。もっと学校をきれいにしたいと思った。
 - ・私たちが「受け継いでいきたい」と思いながらやってきたことが、下級生に伝わって、「立派」「芯から支えてくれる学校の顔」と言ってもらえるほどのことをやっていると思うと嬉しい。
 - ・僕たちのことを見ていてくれて嬉しい。学校のためになることをもっとやりたい。
- (今後の取り組み)
- 今まで登校後、各自の判断で清掃をしていたが、外清掃や人がいるところにたくさん人が集まり、活動の仕方に問題があるという意見が児童からでてきた。
 - まずは、校舎内外で汚れが目立つところ、人手の足らないところに気づく視点を一人ひとりが持つよう、生活班の中でリーダーを中心に清掃場所を決めて行うこととした。
 - 5年生にも声をかけて一緒に活動をしたい。

活動③ 朝清掃ボランティア活動

- 教師の指示なく、生活班のリーダーを中心に、毎朝清掃活動に取り組んでいる。
- 汚れた床を磨いたり、低学年の教室・廊下を清掃したりと、自分たちで考え行動できるようになってきた。
- 現在、毎朝の清掃ボランティア活動に挨拶運動を入れ、挨拶あふれる学校を目指して取り組んでいる。



道具を整理・整頓する様子



床の落ちにくい汚れをメラミンスポンジを使って落とす様子

活動④ 児童会活動での取り組み

- JRC委員会による挨拶月間が終わった後も、自主的に校門前に立って挨拶する児童が見られ、その人数も増えていき、挨拶の輪が広がっていった。
- 放送委員会の児童が、昼の校内放送をより楽しんで聞いてもらうために、放送内容を工夫し、担当教員に相談しながら進めるようになった。

実践2 中根小学校 「遊具キレイキレイ大作戦」

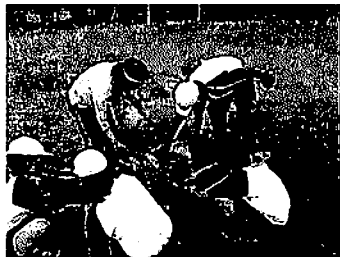
今回の実践は5・6年生で活動を進めることにした。活動①として、交流会に参加した児童を中心に報告会を行った。(学級活動)中学校の取り組みや参加しての感想を発表した。この話し合いを通して、自分たちも学校のために何か取り組むことになった。

「中学生と同じ取り組みをしたい。」という意見が多い中、すぐに取り組める事から始めることになった。それは、「学校の遊具がきたないから掃除しよう」という児童の意見から活動②「遊具キレイキレイ大作戦」に取り組むことになった。

活動① 遊具キレイキレイ大作戦実施

○自分たちで決めたことを実践する。

- ・話し合いで「遊具をきれいにしよう」という意見があり、遊具そうじに取り組むことになった。
- ・遊具の中で一番汚れが目立ったドレミファ階段とタイヤ、ベンチの掃除に取り組んだ。



【活動後の感想】

- ・やる前と比べて、すごくきれいになって気持ちがいいなと思いました。他の遊具もきれいにしたいし、他のボランティア活動などもやりたいです。



《そうじ前》



《そうじ後》

- ・中根小がもっときれいに、気持ちよく生活できるようにしたいです。

- ・やる前は、あまりやる気が出なかったが、どんどんきれいになってきて、やる気が出た。こんな活動を、これからもしていきたいと思った。

活動② 集会で活動を報告

○集会の時間を使って、全校に取り組んだことを報告する。

- ・6年生の代表と教師で「遊具キレイキレイ大作戦」の報告をした。



- ・報告を聞いた下学年(1～4年生)が感想を発表した。

【5・6年生の活動を聞いた児童(1年～4年生)の感想】

- 1年生：きれいにしてくれてありがとう。これからもきちんと使います。
- 2年生：遊具がきれいになってよかったです。次はいっしょにそうじをやりたいです。
- 3年生：5・6年生の人たち、遊具をきれいにしてくれてありがとうございました。ほくも「遊具キレイキレイ大作戦」をやりたいです
- 4年生：そうじ前のドレミファ階段は、土があってわりづらかったけど、おかげですごくキレイになりました。自分たちで、できることをしたいです。

活動③ 児童会活動での取り組み

○児童会活動が活性化し、代表委員会も児童主体で実施されるようになった。

○学校行事への取り組み方も変化し、教師側から指示を待たずに児童の意思で判断し、行動する姿が見られるようになった。

実践3 長者小学校 「5年対6年給食早配り対決」

今回の実践は、岬中学校でプレゼンテーションを受け、いくつかの実践例を学んできた児童（6年生数名）が、5・6年生に報告し伝える事から始まった。

中学校の取り組みを聞いて、感想を持ち、話し合うことで、各学年で「自分たちの生活を、自分たちでより良くしていこう」をテーマとした「岬笑顔プロジェクト」を月に1回、企画委員を決め行ってみることに決まった。

初めに、簡単に自分たちだけで取り組めることを考え、中学校でも行っていると聞いた「給食早配り」を参考にした。そこで、長者小学校の児童たちなりの工夫として、「5・6年生給食早配り対決」に取り組む事になった。

活動① 5年対6年給食早配り対決

○企画委員を決めて、実践内容を決める。

企画委員の児童の感想

- ・やってみるとすごく大変。
- ・思ったより、多くの事を考えなくてはいけなくて大変だった。
- ・みんなの意見をまとめるのが難しかった。



○企画内容のお知らせ

児童の感想

- ・6年生に一回でもいいから勝ちたい。
- ・5年生に負けずに静かに早く配る。



○自分たちで決めたことを実践する。

児童の感想

- ・実際にやってみるとすごく大変だった。
- ・みんなと協力できたのでやってよかった。
- ・他にも活動を企画してやりたいです。
- ・みんなが頑張れば目標時間内に終わることを知った。
- ・すごく意識を持って生活できるようになった。
- ・みんなが少しよくなったと思う。



○活動報告（学級）

企画委員の児童の感想

- ・大変だったけど、楽しかった。
- ・新しい企画で、もう一度やってみたい。
- ・次にやるときも頑張っておきたいし自分も頑張る。
- ・みんなが笑っていたから良かった。



活動② 集会で活動報告

○集会の時間を使って、全校に取り組んだことを報告する。

5・6年生で対決して給食早配り対決をしました。普段できなかったことができてすごく良い意識を持って生活できるようになりました。



自分もすっきりするし、誰かのためになったことでとても達成感を感じた。

いろいろとチャレンジして、みんなが笑顔になれる学校づくりができるとういいですね。

活動③ 児童会活動での取り組み

○岬中学校で行われている岬笑顔プロジェクトに5、6年生の児童が中心になって取り組み、主体的に異学年交流で遊んだり、縦割り掃除を行ったりしている。

実践4 古沢小学校 「6年生主体のボランティアタイム・ふれあい班活動」

今回の活動は、6年生の代表児童が、岬中の生徒会の取り組みについて報告することから始まった。そのときの感想や意見をもとに、6年生同士で古沢小がよりよくなるために何をしたらよいか話し合った。その結果、「活動① ボランティアタイム(清掃活動)」、「活動② ふれあい班活動(縦割り班遊び)」の内容を工夫することに決まった。

6年生は、縦割り班ごとに、晴れ案と雨案を計画し、1～5年生とともに二つの活動を実施した。実施後の6年生の感想からは、学校全体がきれいになったことや、学年を越えて仲よくなれることのよさを実感している様子が窺えた。また、活動をより充実するための改善点も出された。一方、下学年の児童も6年生の姿を見て、憧れの気持ちが高まったように思われる。学校生活をよりよくしたいという意欲や行動が、下学年にも広がりつつある。

活動① 6年生主体のボランティアタイム・ふれあい班活動

○晴れ案・雨案の計画を立て、縦割り班の下学年をまとめながら活動をリードした。

【ボランティアタイムの様子】(工夫：縦割り班ごとに目的意識をもって)



広い花壇を手分けして草取り



お客様の目線で

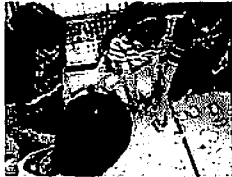


学校の隅々まできれいに

【ふれあい班活動の様子】(工夫：天候に関わらず、みんなで楽しめる遊びを計画)



進んで準備・声かけ



カルタや宝探し・・・雨でも楽しめる計画



分かりやすい説明

【活動後の6年生の感想】

<ボランティアタイム>

- ・学校全体がきれいになって、すごく気持ちがよくなりました。きずなもふかまると思いました。
- ・次も少しでもきれいな学校にするためにみんなで協力していこうと思いました。

<ふれあい班活動>

- ・次やる時は、宝の数をふやし、1年生が見つかりやすい場所にして、少しでも今日より楽しい班活動にしたいです。
- ・このとりくみを続けければ、仲よくなって低学年の子たちもいっしょに遊べるからとてもいいと思いました。

活動②「6年生ってすごいな。」～学年を越えて広がる活動～

【活動をリードする6年生の姿を見た児童の感想】

5年生：私たちのために大事な1時間を使って計画をたててくれて楽しく遊べた。私もそういう6年生になりたい。

4年生：わたしは、6年生を見ていて大変そうだから手伝いたいなと思っています。

3年生：(自分も)ボランティアや、やさしい声かけをしてあげたいです。

【3年生の自主的清掃活動の様子】



教室がきれいだと気持ちがすっきりするよ。



気持ちよくなれるから楽しいよ。

活動③ 児童会活動での取り組み

○縦割り班での活動により、児童会活動が活性化し、集会や各委員会による常時活動が児童主体で行われるようになった。

3 仮説の検証

(1) 各校の共通の変容

- ①資料④の感想より「やってよかった」「他の学年の友だちがほめてくれた」等がある。この感想から、各学校の児童は成功体験を得ることができたと考える。
- ②資料①②のグラフより、各学校で活動前と後で比較すると「そう思う」と答える児童が増えた。資料④の感想より、「他の活動をしたい」「これからも続けたい」等の感想も多かった。今回の実践が成功体験となり、児童の主体的な態度を育てることができ、児童会活動を活性化させることに繋がった。
- ③資料⑥の感想より昨年度の9月以降、各学校行事や児童会活動では、目的意識を持って、教師の指示無く自主的に取り組めるようになってきた。児童が学校生活を向上させようとしている主体的態度が少しずつ育っていきいていることがわかる。

(2) 各校の特出した変容

太東小学校

- ①朝清掃に取り組んだことで達成感を感じている児童がとて多かった。そして、自分たちで考えた実践を下級生に認めてもらえたことが6年生の自信になり、今後の活動に繋げることができた。
- ②教師の指示なく、生活班のリーダーを中心に、毎朝清掃活動に取り組んだり、汚れた床を磨いたり、低学年の教室・廊下を清掃したりと、自分たちで考え行動できるようになってきた。清掃だけでなく、挨拶など学校生活の課題に目を向けられるようになってきた。

中根小学校

- ①報告会の5・6年生の話し合いからとてもよい雰囲気スタートを切ることができた。遊具がきれいになったことや下級生から「ありがとう」「5・6年生のまねをしたい」等の賞賛の声を聞くことで、「実践をしてよかった」と感じている児童が多く見られた。
- ②下級生の児童や先生方に賞賛されたことで、「また次もやりたい」「大変だったけど、みんなが喜んでくれたから続けたい」等の感想が多いことから、今後の児童会活動が活性化されることが期待される。

長者小学校

- ①今回の実践を通して、児童たちが「自分たちで考えて何かをやってみよう」という気持ちが強くなった。
- ②積極的に企画委員になろうとする姿や意見を出す児童が増えた。また、普段の生活から、子ども同士の声かけや工夫しようという意識が増えてきた。

古沢小学校

- ①ボランティアタイムやふれあい活動では、縦割り班ごとに目的意識をもって取り組めた。実践後のアンケートや感想より全校で協力して、少しでも学校がきれいになったことや楽しく遊べたことで達成感を感じている児童が多いことがわかった。
- ②6年生が計画した活動を全校で取り組んだ結果、下学年も見習って、自分たちで考えた活動をするすることができた。

VI 成果と課題

(1) 成果

- ・児童会・生徒会の交流を通して、児童会活動が活性化し、児童が成功体験を得ることができた。
- ・児童が学校生活を向上させようとする主体的な態度の向上が見られた。

(2) 課題

- ・学校生活の向上について否定的な考えをもつ児童がいるので、今後も教師側から児童に成功体験を得るような場を設定しながら、児童の自治的能力を高めていく必要がある。

【主な参考文献】

- 小学校学習指導要領解説特別活動編
- 生徒指導提要

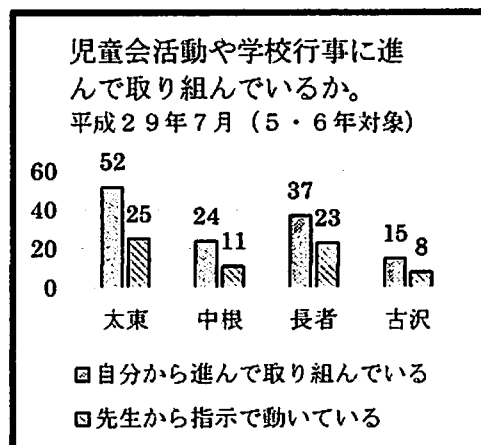
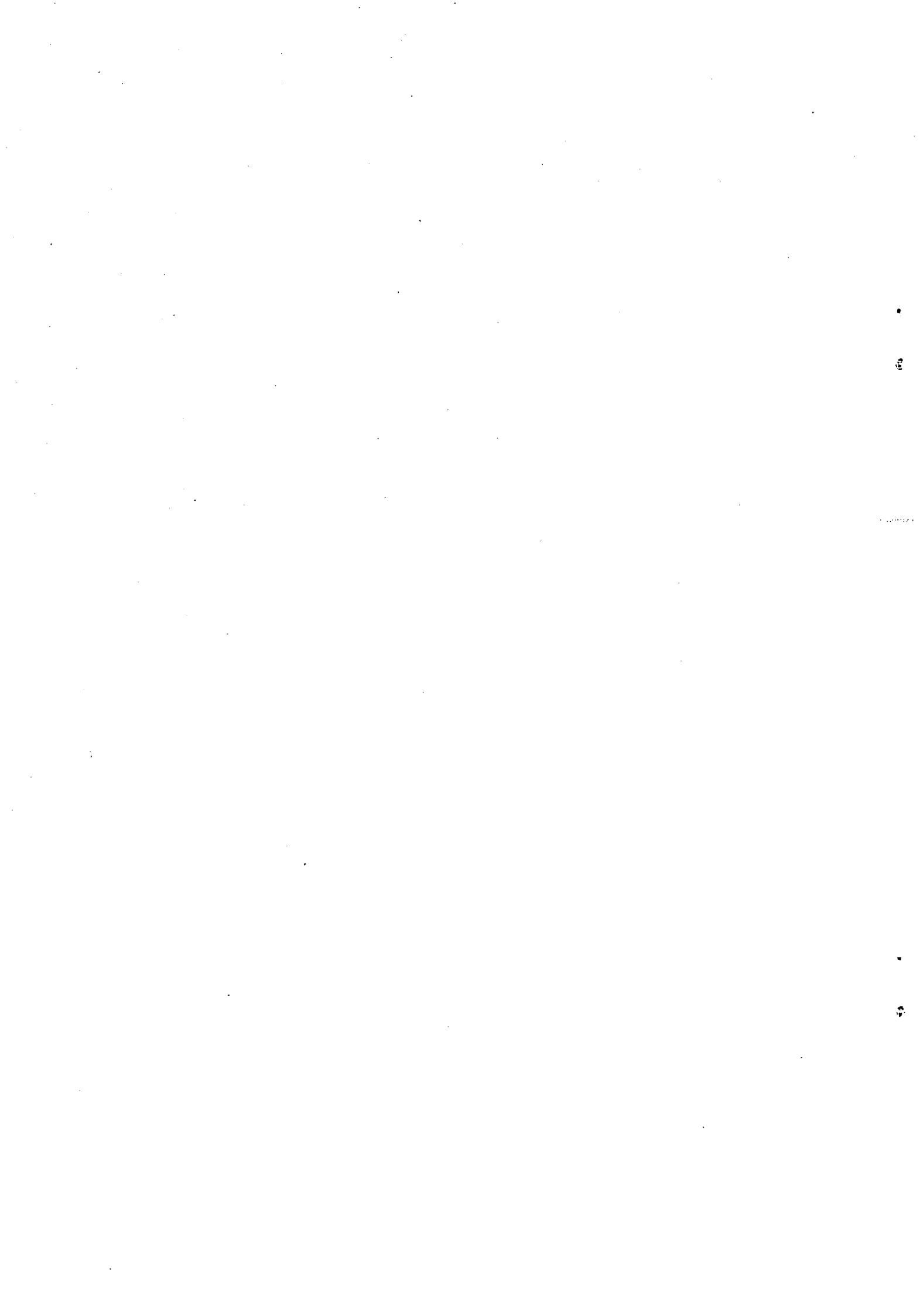


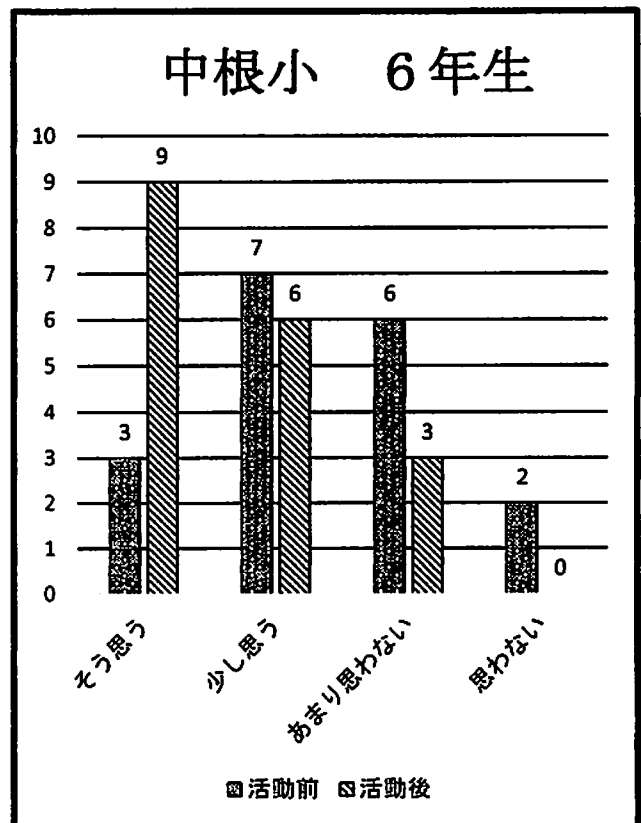
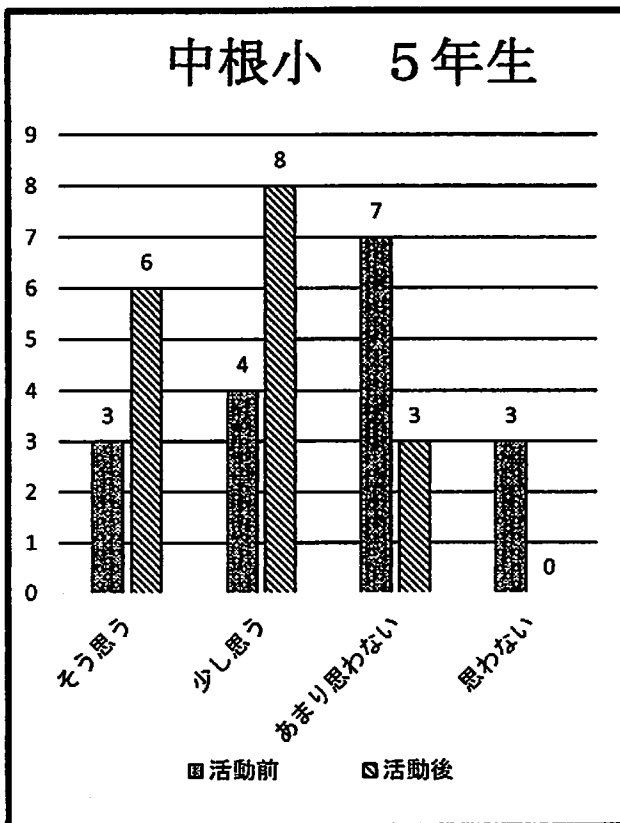
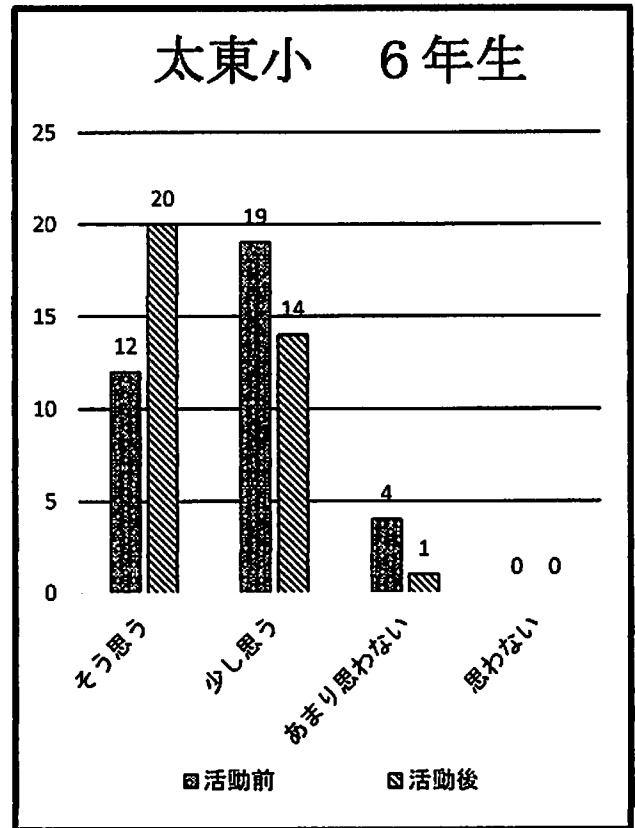
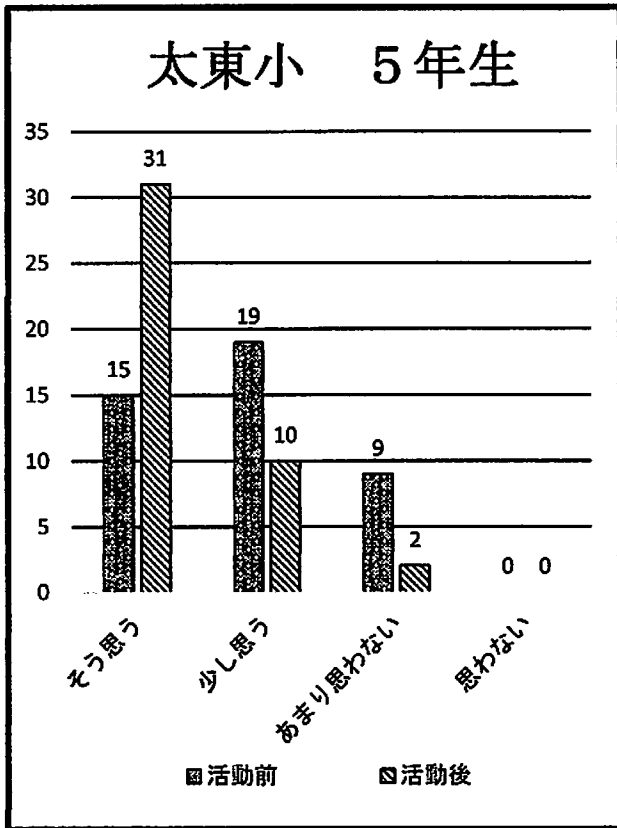
図2 岬地区小学校の児童会活動・学校行事に関する意識調査

資料の部

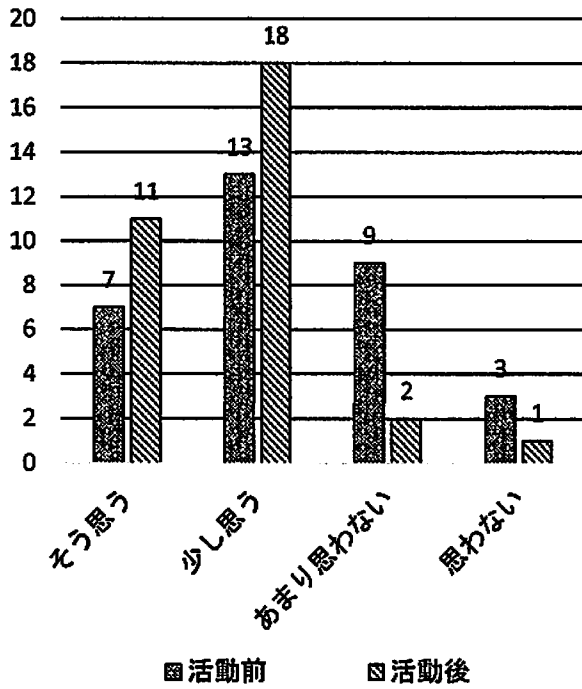


資料① 事前・事後アンケート結果

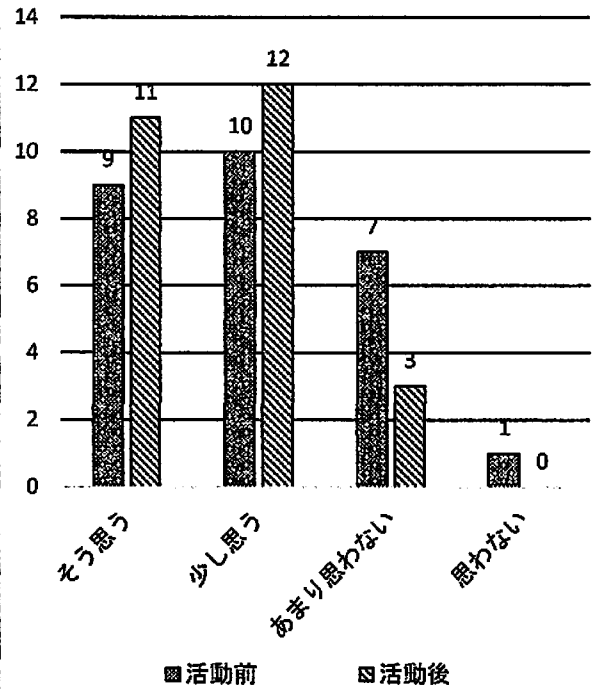
①学校や誰かのために進んで仕事をしたいですか。



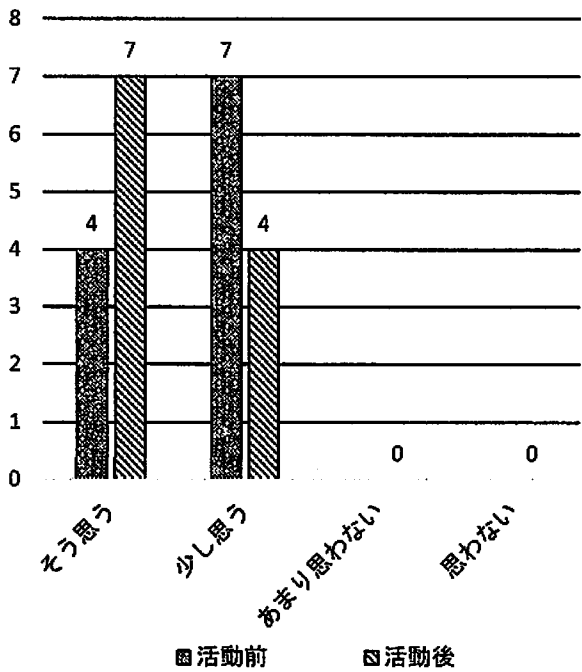
長者小 5年生



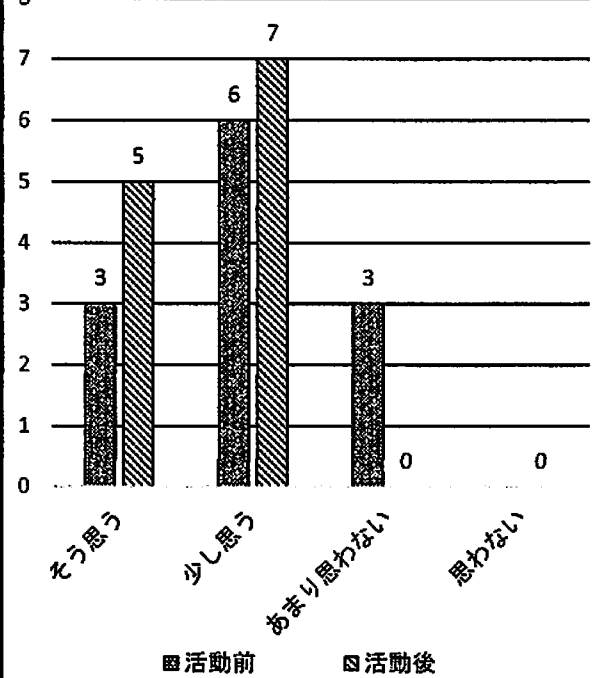
長者小 6年生



古沢小 5年生

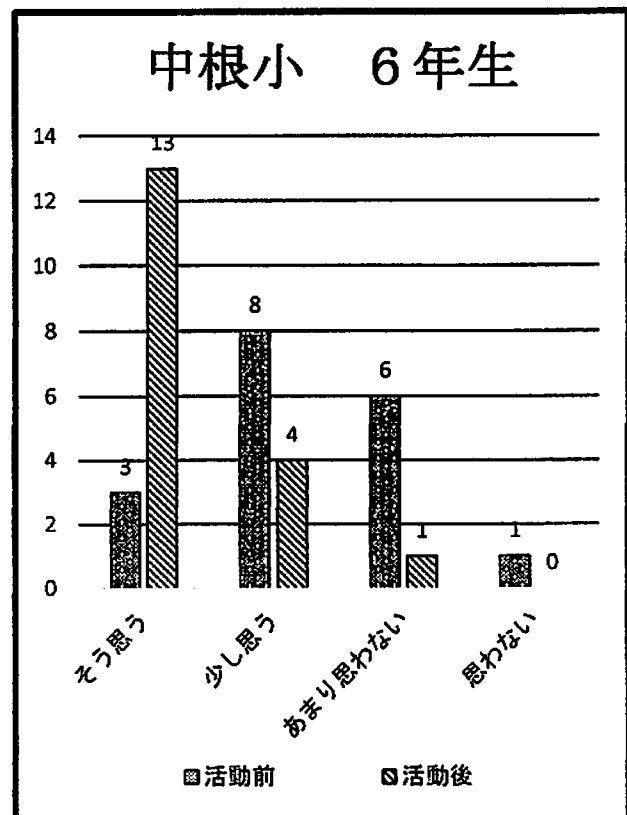
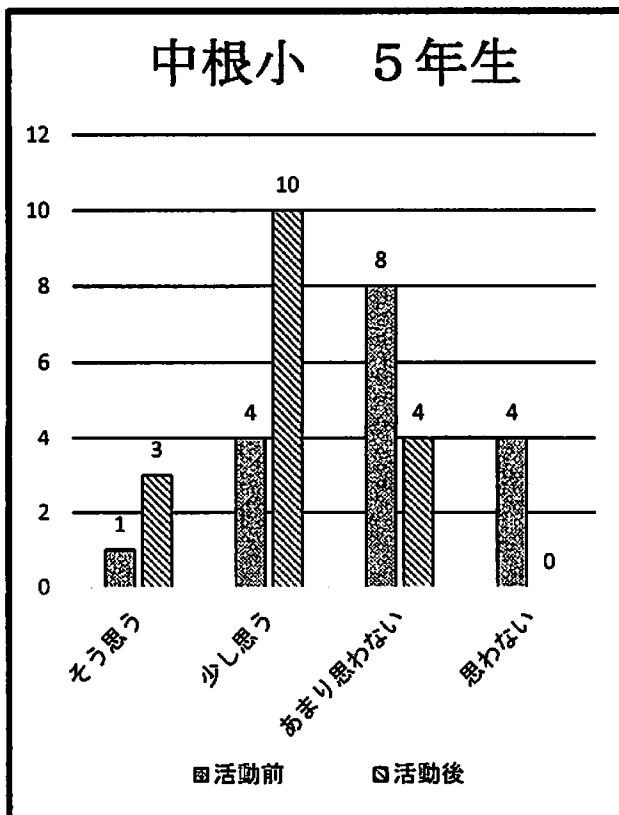
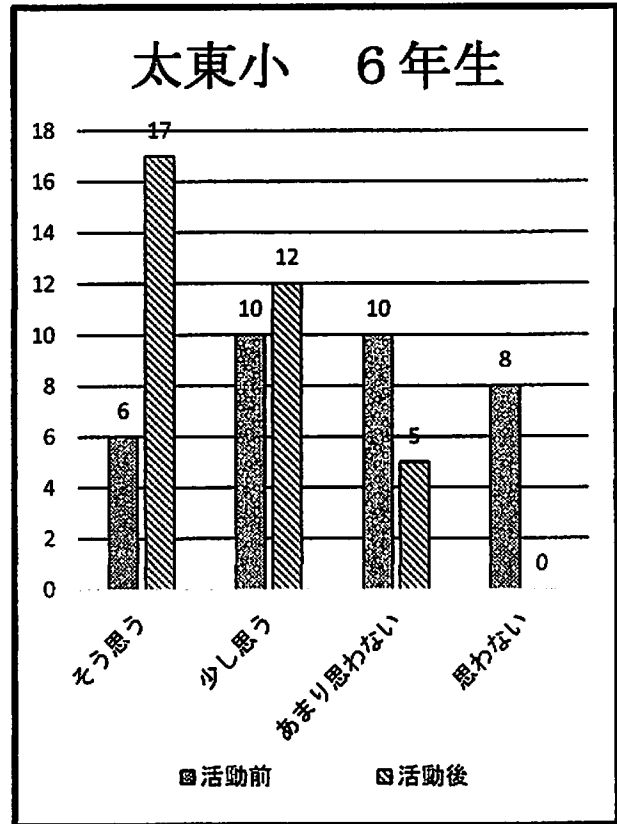
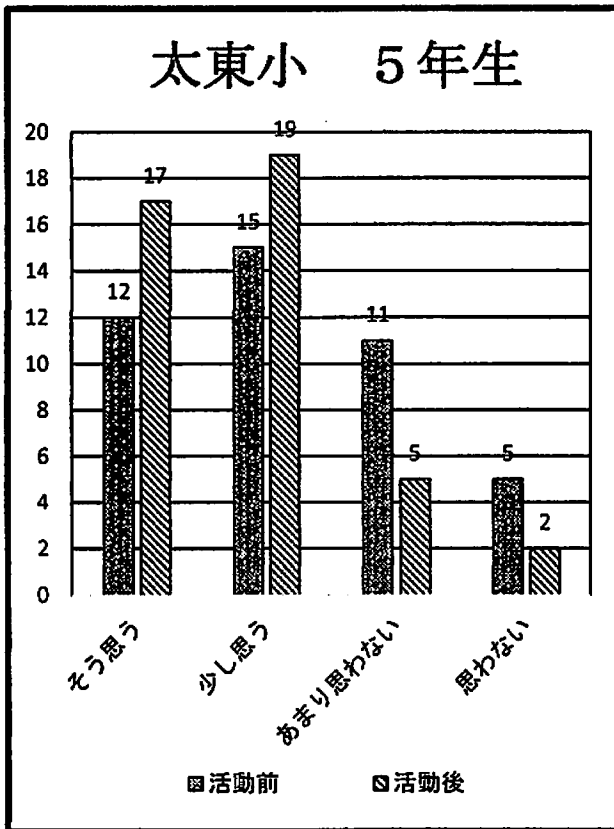


古沢小 6年生

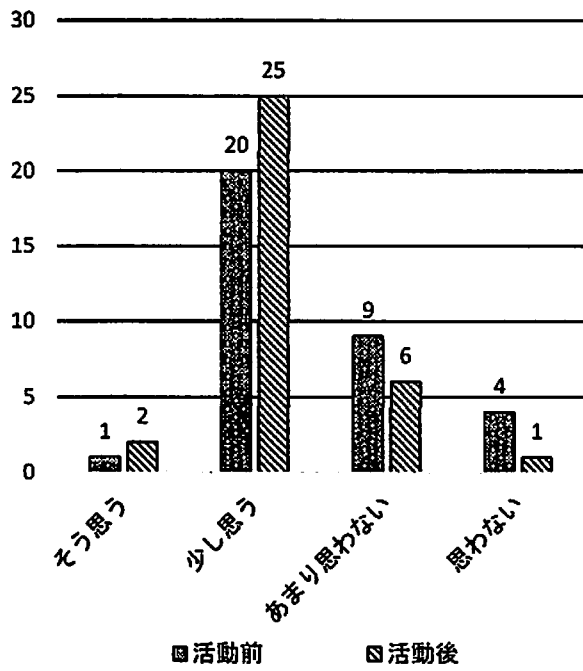


資料② 事前・事後アンケート結果

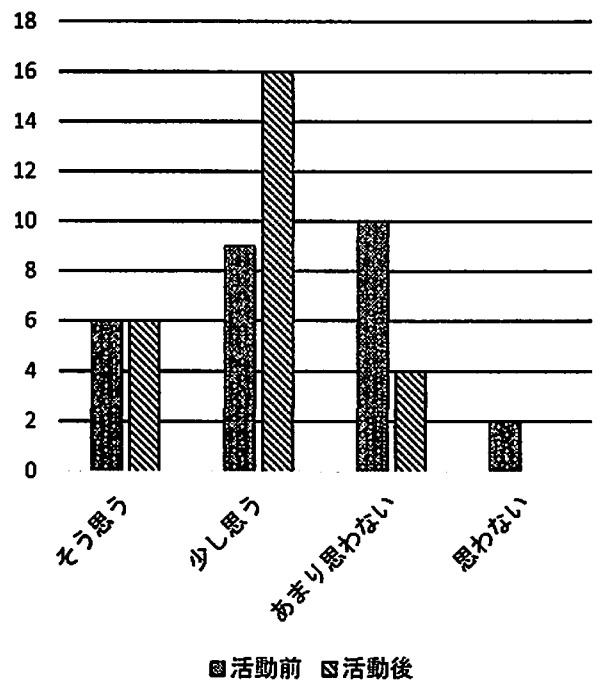
②自分たちで学校や誰かのために進んで行動していますか。



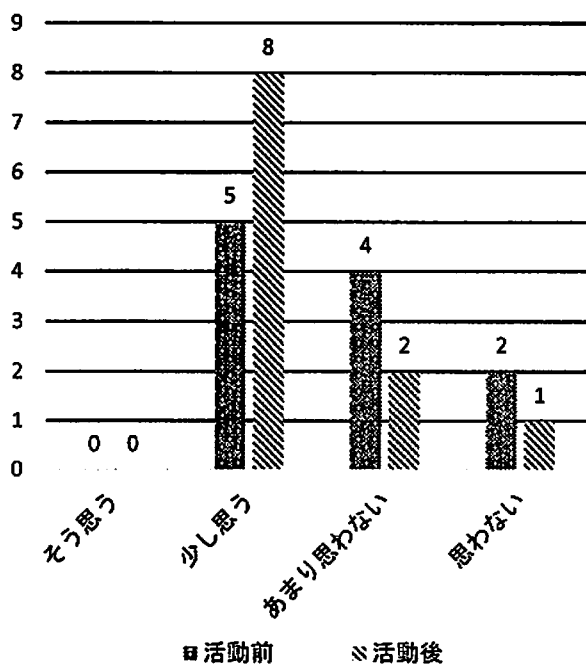
長者小 5年生



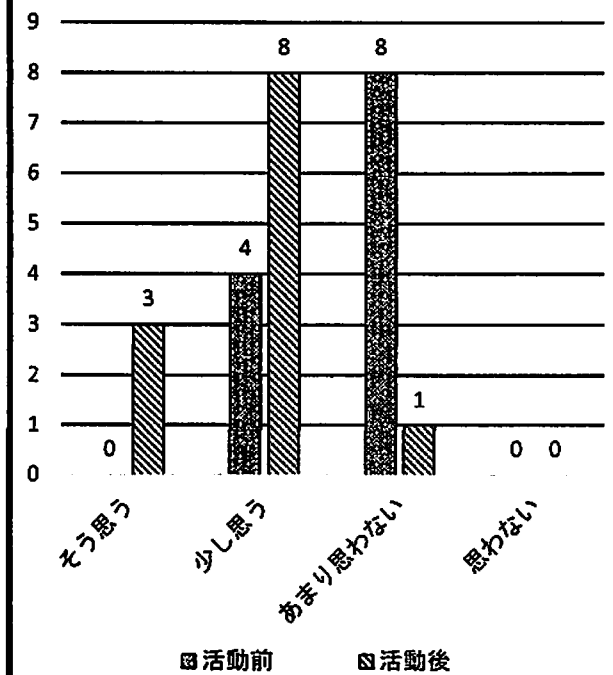
長者小 6年生



古沢小 5年生



古沢小 6年生



資料③ 各小学校報告会の感想 H28年5月実施

中根小《5・6年生》

・中学生はその取り組みをすぐに出来るのはすごいなと思いました。・中根小でもなボラ・ボラの活動をやってみたいなと思いました。・絵はがきも書いてみたいです。・トイレのスリッパは、自分がかけておいたらすくたなおせるのですくたなおしたいです。・学校の遊具もみんなできれいにしてみたいです。

○小学校の時から中学生の取り組みを行っている中学校に行ってもできる
○中学生の高笛有者への祭会手紙を行うと地域の人々が喜ぶと思う
○中学生の細かいルールを決めるのは大切なことだなと思った。
○ちゅうをを行うと学校全体がきれいになり、自分達の気持ちも良くなる。
○中学生の活動を自分も活動してみたい

太東小《6年生》

・中学生が、いやがらずごみひろいなどをやるのがかっこいいと思いました。学校でもごみひろいなどを見習って活動したいです。(ボールなども)・ちゅうも走らない事を保健新聞の近くにはたりする活動をおこなうといいと思った。

こまかいルールを決めていてすごいと思いました。しかもみんながよろこんで学校もよくなるならすごくいいと思って取り組みをしたいと思いました。学習マラソンや絵手紙は、いまずにこもて送ろうと思いました。

古沢小《6年生》

おもしろい活動が多いと思いました。みんなが楽しみながらできる活動かみんなが協力できる活動があつていいなと思いました。

ほ金の時に10万円以上も集めてすごいいました。じんがおきてすぐに全校集会かできて生徒会の人たちもすごいいました。古沢小でもほ金活動ができたらいいなと思います。

長者小《6年生》

いろいろな活動をしていてすごいと思った。・ほくもそういうことがあたら協力をしたい

・この町をみんな笑顔にする取り組みかとてもいいと思った。

みんなを笑顔にしたり、被害があった人たちのために復興プロジェクトなどをしていきたい。

中学生の行っている活動は1階のトイレを使うようにしたり、いろいろプロジェクトを行っていたりしてすごいと思いました。

地域の人と一緒に活動をしたり学んだりして、勉強になると思うからやたほうがいいと思います。

資料④ 各小学校実践後の感想 H28年7月実施

中根小《遊具キレイキレイ大作戦 5・6年生》

私は、この活動を通して遊具をキレイにする活動にいいことだと思
 いました。子どもたちと一緒にキレイな学校で遊ぶことができて
 とても嬉しかったです。ほかにも、みんなの力で学校をキレイに
 する活動がある遊具をキレイにしたいです。また、これからも
 遊具をキレイにしたいです。

・やる前とすごくきれいになって、気持ちがいいなと
 思いました。他の遊具もきれいにしたいし、他の
 ボランティア活動などもやりたいです。
 ・中根小が、ときれいに気持ちよく生活できるように
 したいです。

「遊具キレイキレイ大作戦」を行って1〜4年生
 が喜んでくれてうれしかったし、他の学年も
 行ってみたいと思いました。
 ・自分がやってみて、遊具がきれいになって自分
 もうれしかったし、他の学年もうれしいと思
 いました。

・自分もみんなも気持ちよく遊べるようになってうれしい
 。これからは、ベンチぬりやゴミ捨て、草取り、校舎内のそうじ
 をしたいと思った。
 ・大変だ、だけどみんなが喜んでくれたのでこれからも
 続けたいと思った。

・自分もみんなも気持ちよく遊べるようになってうれしい
 。これからは、ベンチぬりやゴミ捨て、草取り、校舎内のそうじ
 をしたいと思った。
 ・大変だ、だけどみんなが喜んでくれたのでこれからも
 続けたいと思った。

・一年生に「ありがとう」といわれて、他にもボランテ
 アをしたいと思います。「きれいになってうれし
 い」といわれ、私もうれしくなりました。

太東小《YGS 6年生》

・これからみんなが学校をキレイにしたいと思
 った。
 ・すごくうれしかった。
 ・朝そうじをしてよかった。
 ・みんなのためになっているのがうれし
 かった。
 ・とても感動した。

・私達6年生は、受けついでいきたいと思いますなが
 らやってきた事が、下級生に伝わり、「立派」
 「しんから支えくれる学校の顔」と言ってもら
 えるほどの事をやっていると思うと、うれしい!!
 ・1日も休まずに、学校のためにもっと活動
 したい!!

1年生〜5年生、学校全体のためにやってよかった!
 これからも毎朝学校に来たらみんなそして学
 校のために美化活動に取り組みたいです。
 6年生の最後までみんなのために自分たちの
 ために美化活動に、いっしょうけん命と
 取り組みたい!!

・やって良かったと思う。
 ・今の5年生が、自分たちも、そんな風になりたいと思っ
 てくれてい
 ることがうれしい。
 ・これからつなげていきたいと思います。これからも
 良かった。今の5年生なら私達も、もっとすごい学校が
 できると思う。

・5年生が、来年も受け継いでいきたいと思います。
 ・気持ちよく伝わって良かったと思った。
 ・やってみると考える人がいて、気持ちの強
 さを感じた。
 ・6年生が学校を支えていることを分かって、
 責任を感じているなと思った。
 ・5年生が信頼してくれていると思った。

・これからみんなも気持ちよく遊べるようになってうれしい
 。これからは、ベンチぬりやゴミ捨て、草取り、校舎内のそうじ
 をしたいと思った。
 ・大変だ、だけどみんなが喜んでくれたのでこれからも
 続けたいと思った。

資料⑤ 各小学校下学年の感想 H28年7月実施

中根小《1年生～4年生》

おにいさんとおねえさんきれいで
れてありがとうございます。これからきょうとつか
います。

5・6年生の人たち遊具をキレイしてくれて、
ありがとうございます。ほしも、
遊具キレイキレイ大作戦をやりました
です。

ドレミファいだとをきれいにしてくれてありがと
うございます。こんどはあたしやでめたい
です。

学校をよくするために5・6年生に遊具をキレイ
にしてくれました。前は、ドレミファいだ
んに土があってわたりずらかったけど、
おかげですごくキレイになりました。
自分たちでできることをしたいです。

太東小《5年生》

先生や校長先生など月でしんから支えてくれる学校の
「かお」と思ふ。 自分の考えで行動する6年生が
かっこいいと思ふ。



より学校を目指してがんばっている6年生
のみなさんを見ると、とてもうれしくて、
その活動を来年は受けついでいま
たいと思いました。

私も来年は5年生や6年生になりたいと思います。

そして、これから私も少しずつ六年生の
手伝いをしていこうと思います。

せきにんかんがある6年生がいかたから学校
全体がくましくなる。

先生からの考えではなく6年生が自身で考えてそれだけ
ではなくこうしてしているとてもうれしいです。
わたしはそんな6年生になりたいです。

古沢小《4年生》

6年生がやさしくしてうしてくれてとてもお
れしかったです。それにふれあいはんあ
そびであそんでとても楽しかったです。

おれあいはんあそびで5人と先生と9人がわたしは6年生。たのびの
あそびで2人1日人で、おれあひ思ふ。

1年生～6年生までかたのしめるようおんことをかんがえてく
れたい。おんたのしめる来年からみんなをたのびたい。
ふえあいはんあそびしてはいるのは一年に一回たのび
たのしんでたのびあそびにする6年生とたのびあそび
さいごになるから。

おれあひあそびで、おれあひあそびで、おれあひあそびで、
おれあひあそびで、おれあひあそびで、おれあひあそびで、
おれあひあそびで、おれあひあそびで、おれあひあそびで、

資料⑥ 児童の感想 H29年7月実施

太東小《5年生》

・幸月、あいさつ夜更垂カかおわった時に、ホースかバラバラだったから直した。(JRC委員会)

・自然文化クラブでは友達のランドセルがおろしたのでいじたり、
ユムでほうをつくるときは
友達の分もとてきたり。

美化委員会活動

学校をきれいにするために
力をかかはる。

太東小《6年生》

家庭科クラブで調理に使うお皿などがとれていないことに気づき、自分
たちのお皿などを洗っておくことができた。

図書委員会で担当の図書委員の子がいなく本を借りる子がこま
っていて、その日担当じゃなくても本の出し入れの手続きを進んで
おこなった。

始業式

最高学年として、責任感を持ってぶんなりになろう
と思った。先生の話をしっかり聞いた

中根小《5年生》

掲示委員会で糸会をはる時に、きれているのが
あったから直したこと

インクマクラブで、おもしろいクラブを
作って来なう、たてしつ、ついで
に、おもしろい。

6年生を送る会

6年生を喜ばせようと、昔年の
おもしろい系などを取り入れてみる。

中根小《6年生》

・放送の当番ではなかったけど「放送中」というランプがついていたので
消した。

図書委員会で本だてをみたらぐちゃぐちゃだったから整とん
した。

6年生を送る会

けい示物を6年生が心に残るようにかんはって作った。

長者小《5年生》

保健委員会でせっけんのほじゅうをしていたらようきかよごれていたのであらた。

いらい放送委員会で放送の当番をしていたらゴミがたたくさん落ちていろのに
気づきひらった

6年生を送る会

感しゃの気持ちでいっしょをきれいなうけ。

長者小《6年生》

給食委員会で、少しでもポードを見てほしいから、絵を著いたり
している。

美化委員会でつかえるほうきつかえないほうきでわけてたりして
いる。

卒業式

6年生がさあちよく卒業できるようにした。

古沢小《5年生》

さいばいRC委員会 で自分かたのうけではないうきもたて
うけあすれたときにおもてあててくたさりをした

卒業式

6年生がさあちよく卒業できるようにした。

古沢小《6年生》

保健体育委員会で、ボールのせうじをしていたら、ボールサイトにふるかのびているのに
かま、ふるをせんと取り運んだ。

水やりをすずんでやりくさかおれはくさとりをしている。
あいたつ運動会でやっていなから、すずんでこえかけをしている

卒業式

卒業生とお別れしたから気持ちよく卒業でき
るようにした

資料⑦ 各小学校 特別活動年間計画（高学年）

いすみ市立太東小学校

月	学校行事	児童会活動	クラブ活動	学級活動
4月	始業式 入学式 1年生を迎える会 交通安全教室	委員会顔合わせ, 当番決め, 計画立案 代表委員会	顔合わせ 計画立案	「係りを決めよう」 「1年生のお世話に係 について考えよう」 「自転車の乗り方」
5月	遠足 避難訓練 防犯教室 避難訓練	陸上部壮行会 (運営・放送委員会) 代表委員会		「家庭学習への取り組み」 「避難訓練」 「学校のためにできる ことを考えよう」
6月	5年宿泊学習	JRC登録式 (JRC委員会) 代表委員会		「虫歯の予防」 「豊かな人間関係づく り実践プログラム」 「雨の日の過ごし方 を考えよう」
7月	大掃除 終業式	代表委員会	評価・反省	「水の事故を防ご う」 「わたしの将来」「も うすぐ夏休み」
8月		JRCトレーニング センター(JRC委員会)		
9月	始業式 避難訓練 運動会	新学期における計画 や当番の見直し 大会の壮行会 (集会・放送委員会) 代表委員会	新学期における 計画の見直し	「地震が起きたら」 「2学期のめあて」 「運動会を成功させ よう」
10月		大会の壮行会 (集会・放送委員会) 代表委員会		「読書の仕方」 「豊かな人間関係づく り実践プログラム」
11月	修学旅行 6年修学旅行 避難訓練 校内マラソン大会	発表会の壮行会 (集会・放送委員会) 校内マラソン大会 (保健・体育委員会) 代表委員会		「楽しい給食」 「校内マラソン大会」
12月	大掃除 終業式	代表委員会	評価・反省	「楽しい冬休み」
1月	始業式	代表委員会		「新年の抱負」 「3学期のめあて」
2月	6年生を送る会	代表委員会		「豊かな人間関係づく り実践プログラム」 「学校のためにできる ことを考えよう」 「6年生を送る会」
3月	卒業証書授与式 大掃除 修了式	代表委員会	評価・反省	「卒業式に向けて」

いすみ市立中根小学校

月	学校行事	児童会活動	クラブ活動	学級活動
4月	1学期始業式 入学式 1年生を迎える会	顔合わせ 当番決め 計画立案	顔合わせ 計画立案	「学級開き」 「係りを決めよう」 「自転車の乗り方」 「地震が起きたら」
5月	ウォパン中学校交 流会	代表委員会		「運動会の取り組 み方、係りの確認」
6月	運動会 なかよし集会	陸上競技大会壮行会 代表委員会		「雨の日の過ごし 方を考えよう」 「豊かな人間関係 づくり実践プログ ラム」(年間4回)
7月	JRC 登録式 1学期終業式	評価・反省	評価・反省	「もうすぐ夏休み」
9月	2学期始業式	新学期における計 画の見直し 代表委員会	新学期における計 画の見直し	「2学期のめあて」
10月	修学旅行	代表委員会 ミニバス大会壮行会 サッカー大会壮行会		「協力し合って」 「生活問題につい て話し合おう」
11月	宿泊体験学習 校内マラソン大会	音楽発表会壮行会		
12月	2学期終業式	代表委員会 評価・反省	評価・反省	
1月	3学期始業式 中根っ子発表会	新学期における計 画の見直し 代表委員会	新学期における計 画の見直し	「3学期のめあて」
2月	6年生を送る会	運営委員引き継ぎ式 代表委員会		「卒業式に向けて」
3月	卒業式 修了式	評価・反省	評価・反省	

いすみ市立長者小学校

月	学校行事	児童会活動	クラブ活動	学級活動
4月	始業式 入学式 地区児童会 交通安全教室 身体測定 PTA総会 授業参観	役職決め 岬プロジェクト (学年と遊ぶ)	役職決め	「学級開き」 「係りを決めよう」 「自転車の乗り方」 「地震が起きたら」
5月	全校遠足 ウォパン中学校と の交流 陸上大会	代表委員会 岬プロジェクト (給食早配り)		「運動会の取り組 み方、係りの確認」
6月	運動会 歯みがき教室	反省 岬プロジェクト (たてわり掃除)	反省	「雨の日の過ごし 方を考えよう」 「豊かな人間関係 づくり実践プログ ラム」(年間4回)
7月	大掃除 地区児童会 終業式	代表委員会		「もうすぐ夏休み」
9月	始業式 避難訓練			「2学期のめあて」
10月	ミニバス大会 修学旅行 サッカー大会			「協力し合って」 「生活問題につい て話し合おう」
11月	音楽発表会 マラソン大会			
12月	地区児童会 終業式	反省	反省	
1月	始業式 スキー教室 校内書き初め展			「3学期のめあて」
2月	保育所との交流会 なわとび大会			「卒業式に向けて」
3月	6年生を送る会 卒業証書授与式 終了式 離任式	反省	反省	

いすみ市立古沢小学校

月	学校行事	児童会活動	クラブ活動	学級活動
4月	始業式 入学式 1年生を迎える会 交通安全教室	顔合わせ, 当番決 め 計画立案	顔合わせ 計画立案	「学級開き」 「係りを決めよう」 「自転車の乗り方」 「地震が起きたら」
5月	ふれあい遠足 避難訓練 不審者対応訓練	陸上部壮行会 (集会・放送委員会)		「運動会の取り組 み方, 係りの確認」 「雨の日の過ごし 方を考えよう」
6月	運動会 いのちキラキラ集 会 (防災教育)	プール開き (保健・体育委員 会) JRC登録式 (栽培・JRC委員 会)	評価・反省	「もうすぐ夏休み」 (やくそく過ごし 方の確認)
7月	終業式	評価・反省		
8月		JRCトレーニング センター(栽培・JRC委 員会)		
9月	始業式 避難訓練	新学期における計 画や当番の見直し	新学期における 計画の見直し	「2学期のめあて」
10月	修学旅行	各種大会・発表会の壮 行会(集会・放送委員 会)		集団生活の向上 「ピアサポート」 「協力し合って」
11月	校内マラソン大会 避難訓練	校内マラソン大会 (保健・体育委員 会)		「生活問題につい て話し合おう」
12月	終業式 校内席書会	評価・反省	評価・反省	
1月	スキー雪国体験教 室 避難訓練	新学期における計 画や当番の見直し	新学期における 計画の見直し	「3学期のめあて」
2月	学力検査 わくわくフェステ ィバル(文化的行 事)	わくわくフェステ ィバル準備・反省	評価・反省	「卒業式に向けて」
3月	卒業証書授与式 修了式			「もうすぐ6年生」 (5年生)